

Title	序(宇治順一郎教授退任記念号)
Sub Title	
Author	清水, 龍瑩
Publisher	
Publication year	1985
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.28, No.5 (1985. 12) ,p.i- ii
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-19851225-04053860

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

序

1985年3月、われらの敬愛する宇治順一郎先生は慶応義塾を定年で退職され、名誉教授になりました。先生は1945年塾経済学部を卒業され、48年経済学部予科講師になられてから定年になられるまで38年の長い間、塾の研究、教育にあたられてきました。

先生は、日本経済史の泰斗故野村兼太郎教授の遺鉢を継がれた俊秀であり、日本経済史、特に商業史、農村史、林業史の実証研究の権威であります。その研究態度はつねに精力的でしかも緻密であり、食糧公団史の執筆にあたっては戦後の混乱期に原資料を求めて直接米穀商をたずねたり、農業史の執筆にあたっては旧家の古文書を徹底的に調べつくされたり、真に実学の伝統を具現された、塾が誇る偉大な研究者であります。特に日本林業史についての、膨大な資料を駆使した徹底的な研究は、学会で非常に高く評価され、その社会経済史的視点に立った千数百頁に及ぶ大著の内容は、30年経った現在でも、多くの研究者に引用されています。一方、先生は教育にも大きな情熱をそそがれ、先生の経済史、産業史の講義は商学部のいわゆる「名物」講義になっていました。先生の「死んだ過去ではなく生きた歴史を把握する」という視点は、学生の心の中に深くきざみ込まれました。この講義を受講しないと商学部の学生とは言えないといわれるほどでした。このほかにも先生は慶応義塾評議員、大学評議会委員などを歴任され、塾の枠組みづくりにも大きく貢献されてきました。

先生のその徹底した論理の追究、人々に対する温い愛情は、商学部在職中色々な面に現れていました。先生が教授会で質問に立たれると、その抜群の記憶力と徹底した原則の追究、論理の展開のため誰一人として反論できないことが度々起りました。原則からはずれることはどんな些細なことでも先生は拒否されました。ごまかしの大嫌いな先生でありました。一般に大学の教員は年をとると、評価が甘くなる傾向があります。しかし先生は最後まで学問論理の追究に厳しく、日吉の経済史の講義では多くの怠け学生がその怠けぶりを反省させられました。一方、そのような学問についての厳しさの反面、人間的には非常に優しい方で、塾教職員のために労働組合の執行委員長を何年も続けられていました。小生もその時、先生の下で執行委員をやって、先生の人柄を色々な面から学ばせていただきました。小生が留学に出発する前日、四谷の慶応病院でストが行われピケがはられましたが、小生がそのピケに参加しようとする、君は捕ると留学できなくなるからと言われて後へ引きずり戻されました。先生はまわりの人々にいつもこのように気を遣われていました。また労組の執行委員の中で、やや手を抜く人がいて、先生も団体交渉中窮地にたたされ、一時大変立腹

されましたが、その人となりや人となりを聞かれて納得され、それ以上追及されませんでした。このように先生は学問の追究には厳しくされましたが、人間的面では非常に温い人で、いつも笑みをうかべている典型的な慶応ボーイ、ワグネルOBでした。

このような先生の御薫陶をうけたわれわれ商学部スタッフ一同は、先生の御意志とお人柄を受け継ぎ、先生の期待を一刻たりとも裏切らぬよう努力する積りでおります。先生も今後益々御健康に御留意下され、今まで以上にわれわれを御指導下さいますようお願いいたします。

商学部長

清水龍瑩